

第1号議案

令和3年度（2021年度）事業報告書〔案〕

令和3年度は、前年度に続き1年を通して新型コロナウイルス感染拡大禍の中にあり、進交会の組織運営と財政の両面において大変厳しい年であった。一方で「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、会報を試行的に分冊発行するなど今後の方向を模索した年でもあった。

5月に予定していた社員総会は、新型コロナウイルス感染防止のため開催できず、「書面による決議」に変更して実施した。

また、年に一度会員が一堂に会する機会である新年会も、3年ぶりの開催を予定して会報にて広報も行ったが、新型コロナウイルス・オミクロン株のまん延により、開催を断念することとなった。

進交会館2階のみなど倶楽部と3階会議室の営業についても、感染防止対策のため営業を中止した期間が続き、また営業期間においても利用者は少なく、例年に比べ大幅に収益が落ち込んだ。

進交会報については、会報を一人でも多くの会員に読んでもらい、母校愛を高め、進交会への意識高揚を図るため、試行的にY校版、横浜市大版に分冊して発行し、これに関してのアンケート調査を行った。

進交会は「若年層および現役生に“進交会”への関心をどうしたら高められるか」などの課題に直面している。Y校会、市大同窓会が行った、同窓生同士、同窓生と母校、同窓生と現役生等との連携や、地域貢献への取り組みは、今後の進交会の持続可能性を探るものとして有意義なものであった。

以上、令和3年度は、コロナ禍で厳しい期間ではあったが、Y校同窓会、市大同窓会がワンチームとなり、同窓生、母校、地域等に貢献するよう事業を進めることができた。

I. 2021年度重点目標の評価

1. 重点目標

(1)「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、進交会新時代の収支、経営の安定化と発展の基盤づくりを行う。

●2021年度も新型コロナウイルス禍の厳しい状況であったが、「持続可能な進交会組織の確立と運営」を目指し、収益を確保し今後の方向を模索した。

●持続可能な進交会組織の確立と運営をめざしたホールディング体制の検討については2022年度に検討することとした。

●安定収入を図るため、住宅床のサブリースおよびテナント床の適切な運営を行うとともに、また、会費のコンビニ払いの活用や進交会報分冊同封での納付依頼などによる会費収入の確保に努めた。

●今後の収入の安定確保のためには、同窓会活動を同窓生、現役生、母校、地域などの関係者（ステークホルダー）に十分理解して頂き、連携し貢献していくことが大前提である。横浜市大同窓会、Y校会が中心となり、関係者と十分連携しながら、進交会の定款にも掲げられる3つの目的、①母校、横浜市大・Y校への貢献、②会員相互の親交、③地域社会への貢献のための諸活動を行い、収入の安定確保に努めた。

(2)進交会と会員・母校・地域との連携を進めるため広報の充実に取り取り組む。

- 2021年度は、進交会への愛着と、関係者との連携を深めるため、進交会報の分冊の試行と、ホームページのリニューアルを行った。
- 進交会報について、これまでY校・市大を合同掲載し発行していたのを、Y校版・横浜市大版に分冊発行した。分冊についてのアンケートを実施した結果、概ね賛成であった。
- 使用頻度の低かった“進交会ホームページ”の構成・デザイン・内容を抜本的に見直し、全面リニューアルを実施し10月から開始した。ホームページのリニューアルにより、従来のパソコンに加えスマホからのアクセスも増え、利用者数は飛躍的に増えた。

(3)進交会館の宣伝活動を広く行い、より多数の会員の利用促進を図る。

- より多数の会員に利用いただけるよう、進交会報および進交会ホームページにおいて、進交会館の紹介や進交会活動の広報宣伝を広く行った。
- Y校や市大、および部活が開催するイベントなどで、新進交会館を紹介する広告を掲載し、利用促進を図った。
- 新型コロナウイルス感染防止対策等のため、進交会館の営業を一部休業し、2021年度の会館の稼働率は著しく低い結果となった。

II. 会員の状況 (2022年3月31日現在)

1. 本年度新会員

市大 (大学院卒を含む)	938名
Y校	275名
合計	1,213名

2. 会員総数

区分	会員 (物故者を除く)	住所不明者	住所登録者数
市大	37,328	17,989	19,339
Y専	816	577	239
Y校	24,867	9,874	14,993
合計	63,011	28,440	34,571

【市大生内訳】

区分	会員 (物故者を除く)	住所不明者	住所登録者数
商学部	14,452	6,932	7,520
文理学部	9,254	4,749	4,505
国際文化学部	1,034	690	344
理学部	691	383	308
国際総合科学部	5078	1,820	3,258
医学部(医専・医大)	2,674	1,239	1,435
看護(高等看護含む)	3,623	1,997	1,626
大学院 他	522	179	343
合計	37,328	17,989	19,339

Ⅲ. 進交会の定例事業

1. 社員総会

一般社団法人に関する法律 第58条1項（社員総会の決議の省略）に基づき書面での決議に変更した。

- (1) 提案者： 代表理事 古屋文雄
- (2) 社員総会の決議があったとみなされた日： 2021年6月14日
- (3) 社員総会の決議があったとみなされた事項
 - ① 第一号議案 2021年度 事業報告(案)の承認
 - ② 第二号議案 2020年度 決算報告書(案)承認第一号議案、第二号議案、が承認された。

2. 進交会報発行

- 10月に会報87号を発行した。
- 会報を一人でも多くの会員に読んでもらい、母校愛を高め、同窓会（進交会）へ意識の高揚を図るため、試行的にY校版、横浜市大版に分冊して発行し、これに関してのアンケート調査を行った。
- 分冊により、新型コロナウイルス対策や進交会の事業報告など両校に共通する記事に加えて、最近の同窓生の活躍や母校の状況などについて、卒業生に対して広くかつ詳しい紹介ができた。
- 進交会報の分冊に関するアンケート結果（概要）

	合計	Y校	横浜市大
賛成	82%(915)	80%(390)	84%(516)
反対	7%(74)	6%(31)	6%(40)
どちらともいえない	11%(126)	13%(65)	10%(60)
合計	100%(1115)	100%(1115)	100%(1115)
進交会報送付数	34,292名（内訳：Y校14,912名 市大19,350名）		

3. 新年懇親会開催

- 年に一度会員が一堂に会する機会である新年会は、3年ぶりの開催を予定し会報での広報も行ったが、新型コロナウイルスの新たな株のまん延等により、開催を断念した。

Ⅳ. 理事会、各委員会

1. 理事会

第1回理事会 2021年7月2日 書面決議

- 第1号議案 公益目的支出計画実施報告書(案)承認の件
 - 第2号議案 進交会報第87号の学校別分割発行案承認の件
 - 第3号議案 職員夏季賞与支給の件
- 議案すべて承認

第2回理事会 2021年11月26日(金) 17時～18時30分

第1号議案 令和3年度上半期決算承認の件

第2号議案 令和4年進交会新年懇親会開催承認の件

第3号議案 職員冬季賞与支給の件

議案すべて承認

第3回理事会 2021年3月25日(金) 17時～18時30分

第1号議案 令和3年度収支見込及び令和4年度収支予算承認の件

第2号議案 役員選考委員会委員選考の件

第3号議案 社員総会の日程及び議題の件

議案すべて承認

2. 各委員会

1) 総務財務委員会

(1) 委員会の開催

6月11日 11月17日

感染防止対策としてまん延防止等期間中は開催見合わせ。

(2) 調整・実施事項

① 書面による社員総会の開催

・コロナ禍のため、法人法第58条1項(社員総会の決議の省略)に基づき、書面による社員総会の開催を行った。(決議があったとみなされた日 2021年6月14日)

② 会報の分冊発行の検討とアンケートの実施

・進交会報を分冊にして発行することにつき、「会報・ホームページ委員会」との合同で検討し、第87号をY校版・横浜市大版に分けて試験的に発行し、アンケートを実施することとした。

③ テナントの防犯対策および防災計画の作成

・1階おおぎに盗難事故が発生したため、防犯対策として店舗入口右上部に防犯カメラを設置した。(事務所内のモニターで常時監視・保存できる。)
・防災計画を作成し、防火管理者の設置等を行い、令和3年度末に中消防署に提出受理された。

2) 会報・HP委員会

(1) 委員会の開催

4月19日 5月31日 6月22日 7月2日 7月12日

7月27日 8月24日 9月6日 9月14日

(2) 調整・実施事項

① 会報の分冊発行の検討とアンケートの実施

・進交会報を分冊にして発行することにつき、「総務・財務委員会」との合同で検討し、第87号をY校版・横浜市大版に分けて試験的に発行した。
・分冊については何度もディスカッションし、バランスのとれた内容にした。
・「会報の分冊発行について」および「進交会報の内容について」、アンケート調査を行い第3回理事会において報告した。
・アンケート結果は、分冊発行につき 賛成82%、反対7%、どちらともいえない11%

内容につき 良好78%、不十分5%、どちらともいえない17% (回収率どちらも3%)

②ホームページのリニューアル

- ・ホームページは、進交会や母校の最新情報を会員に届け、進交会報発行の補填をすることが重要な役割であるが、あまり活用されていない状況にあった。
- ・企画会議を数回開催しデザインや構成、コンテンツ等の一新を検討し、ホームページのリニューアルを行った。
- ・利用者が拡大し、ページビュー数 1,785 件/月 (2022 年 3 月)に向上した。
- ・パソコンに加えスマホでも見られ、モバイル利用率は全体の46%(2022 年 3 月)で 20・30・40 歳代の利用が大半となった。
- ・閲覧多いページ トップページ、市大同窓会、Y 校会のページ他

3)事業委員会

(1)委員会の開催

10月29日

(2)調整・実施事項

① 委員会の開催

令和3年10月29日(金)開催し、令和4年の新年会の中止の提言、令和3年度のみなと倶楽部、貸会議室の収支状況を確認し、チラシの作成、利益率の高い貸会議室のPR等について討議を行う。

- ② 令和3年4月20日～8月1日のまん延防止等重点措置、そして令和3年8月2日～9月30日の緊急事態宣言の発令により、令和3年4月～9月は2階のみなと倶楽部を休業し、貸会議室のみ営業した。4月～9月の売上は371,140円、10月～3月の売上は1,764,560円、そして緊急事態宣言解除後の令和3年10月から平常営業を行うも、売上2,132,700円に対し支出4,234,554円で収支は△2,101,854円の減収となっている。令和2年度と比較し50%増収しているが、旧みなと倶楽部の平成28年度売上との比較では△81%の減収となっている。

【旧みなと倶楽部、対平成28年度売上比較】

年 度	売上金額	対28年度 売上比
平成28年4月～平成29年3月	11,026,310円	
令和 2年4月～令和 3年3月	1,418,820円	12.8%
令和 3年4月～令和 4年3月	2,132,700円	19.4%

④ 貸会議室利用を高める。

粗利益率の高い貸会議室利用促進の為 HP 等で PR を行った。

◎ 貸会議室利用料

	2時間まで(@1部屋)	以後1時間増す毎に
会 員	3,000円	1,000円
非会員	5,000円	1,500円

V. 部会(同窓会)

(1)Y校会

2021年度も昨年に引き続き『母校への積極的支援』『組織の拡大・活性化』をテーマに掲げ取り組んできたが、コロナ禍により各種行事、イベントの中止を余儀なくされ冬眠状態でエネルギー備蓄の1年であった。

【母校への積極的支援】

① 『Y校会海外奨学金制度』

昨年に続き令和3年度もコロナ感染症の影響により横浜市の募集が中止となり、台湾・ニューヨークへの研修参加者がなく海外奨学金の支給はない。

【海外研修制度】

国際社会を舞台に活躍を目指す横浜市内在住・在学の高校生を対象とした、横浜市主催の「世界を目指す若者応援事業」の一環として、台湾・ニューヨーク留学に自費で参加する生徒を対象に、Y校会は平成29年から応援事業を実施している。

②

【Y校会活動状況】

総会	令和4年1月29日に「予定するもコロナ禍により延期(開催日未定)」
SDGs活動支援	Y校生の活動に対し20万円を令和3年8月6日Y校に寄贈
歌舞伎鑑賞教室	令和3年6月25日(金) 38名参加 神奈川県立青少年センターホール
美澤進校長墓参会	令和3年9月16日(木) 久保山霊園にてY校校長、Y校会会長・副会長・事務局、計8名が墓参
寄席鑑賞	令和3年11月19日(金) 33名参加
Y校軟式野球部支援	全国大会出場を祝い、進交会員、Y校会会員より協力いただき223件、175万円を令和3年9月10日に寄贈

③ 『漫画で知るY校のはじまり』の小冊子を令和3年3月の入学手続き時に新1年生に配布した。

【組織の拡大・活性化】

昭和50年代以降卒業の次世代会員の増員と目標に掲げる「正会員1,000名体制確立」へ向けての取組を推進した。

◎ Y校会のPR → 昭和50年卒、55年卒、56年卒の合計562名に対し「Y校会だより」及び「会費納入協力依頼」を送付した。

【令和4年度に向けて】 ～「組織の拡大と母校支援」～

- (1) Y校140周年記念行事の開催を中心として活動を行う。
- (2) 美澤進校長の100回忌法要を営む。(9月17日(土)円覚寺)
- (3) その他、歌舞伎鑑賞教室、落語鑑賞、暑気払い、社会見学会等に加え、Y校会講座の復活開催を検討する。
- (4) Y校生徒へのSDGs活動の支援、海外研修の支援を引続き実施する。

(2)横浜市大同窓会

横浜市大同窓会(YCU REUNION)は ①同窓会交流促進 ②市大との連携・支援 ③地域・SDGsへの貢献の3本柱で事業を基に横浜市大100周年に向け、会員相互、大学、学生等との連携を大切にしつつ事業を進めている。

■1. 市大同窓生の交流促進と SDGs 活動

YCU REUNION SDGs オンラインセミナーを一月に1～2回ほど開催。3月はシンポジウムを横浜市大の協力を得て行った。

4月	「アフリカの貧困とSDGs」神奈川県ユニセフ協会学習ボランティア花木陽子さん
4月	「アフリカのジェンダー問題」同 上
5月	「ジェンダー基礎講座～価値観の対立・ゆらぎ・多様性」市大 佐藤響子教授
5月	「ジェンダー 世代を超えてディスカッション」同 上
6月	「天災・人災としてのパンデミック下のジェンダー」川根 友さん(インド在住)
6月	「ケアを与える立場・受ける立場からの考察」同 上
7月	「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」NPO 法人ソフトエネルギーPJ 佐藤一子さん
7月	「私の歩んだ道」猿渡紀代子さん(同窓生 大佛次郎記念館・特任研究員)
8月	「SDGsにつながるサステナブルシーフード」浅野智恵美さん(TEHs 支援として)
9月	「学生の起業“企業の廃棄を削減し、循環型社会を実現する”」(株) StockBase
9月	「“半農半エネ+X”への道とソーラーシェアリング」重家雅文さん(同窓生)
10月	「SDGsにつながるプロボノ・チェロ演奏活動」ヌビアさん
11月	「循環型社会とサーキュラーエコノミー市民意識・生活の変化から」関口昌幸さん
11月	「セーリングヨットで世界一周」須藤尊史さん(同窓生)
12月	「被爆者は私たちに何を訴えているのか～平和とは何か～」RECNA 林田光弘さん
1月	「人権の尊重なくしてSDGsの達成なし」斉田裕史さん(同窓生)
2月	「南極からちきゅうを観る～探験(たんげん)の海図から～」永延幹男さん
3月	YCU REUNION SDGs シンポ2022「女性起業のヒントを探る!～女性起業・創業の拡大に向けて～」各年代の同窓生起業家5人の皆さんが出会った困難や熱い思いを共有した。・今後の支援について横浜市男女共同参画や、IDEC横浜、地元企業に協力を依頼。

これらの活動をとおして同窓生の連携が広がり、また、市大との連携の重要性が増している。

■2. 大学・学生との連携・支援

- 学生との連携：SDGs活動団体TEHsや、La Fraiseの活動支援を行った。また、環境ボランティアStepUp↑などとの交流もあった。
- 大学「卒業生担当者」との情報共有(facebook)を行っている。

□YCU REUNION SDGs シンポ 2022 では広報、会場、スタッフ、録画編集など、大学には多大な協力をいただいた。

□ジェンダー研究の教授が行うインタビュー調査に同窓会女性数名が協力した。

■3. 地域・SDGsへの貢献—地域との連携—

□オンラインセミナー講師は横浜の方が多く、地元情報の共有をしている。また、セミナーに参加する方は SDGs 活動の輪の中にいる。

□SDGs 目標 14 の推進：毎月、野島の海岸清掃を NPO 団体に協力し継続中。

□協力団体：NPO 法人海をつくる会 NPO 法人こども大学よこはま SeraCreations

■4. 広報

□進交会報 87 号の発行（横浜市大版）

□ホームページ：告知と報告（セミナー、シンポジウムの動画をアーカイブとして掲載）
進交会 HP への 3 月の PV は 1,785、ユーザー 606 人、平均セッション時間 1 分 29 秒

□facebook：お知らせや、メンバー（約 800 人）の自由投稿、横浜市大卒業生担当者さんや大学の fb 投稿等のシェア。

□神奈川新聞 Web 版「カナロコ」に“YCU REUNION SDGs シンポ 2022 “開催の告知”記事が掲載された。同事業は IDEC 横浜のメーリングリストでも共有された。

□大学の学生ポータルでシンポジウムの案内をしていただいた。

□「キャンパスガイドブック」に同窓会（進交会 横浜市大同窓会）の広告掲載。

■5. 総会の開催

横浜市大同窓会総会2021を、10月30日(土)進交会館3F 会議室にてオンライン併用で開催。2020年度事業報告と決算報告、監査報告、2021年度事業計画書と予算が承認された。記念講演として市大名誉教授の齊藤毅憲先生に、“横浜市立大学の源流「Y 専の歴史」”と題してご講演いただいた。

■6. 令和4年度に向けて

□引き続き、①同窓会交流促進 ②市大との連携・支援 ③地域・SDGsへの貢献の3本柱で事業を基に、会員相互、大学、学生等との連携を大切にしつつ事業を進める。

□SNSの活用やメール等での広報・交流の充実に、会員の交流・活動支援の機会を広げる。

□2028年の横浜市立大創立100周年に向け、大学と同窓会との連携をより深め SDGs等の事業を推進するとともに、100周年基金等への支援を行う。

VI. 母校関係

1. 市大・Y校行事

- (1)市大
- ① 入学式 2021年4月5日 関係者のみで開催された。
 - ② 卒業式 2022年3月25日 関係者のみで開催された。
 - ③ 「第70回医学のために献体された方々への感謝の集い」
関係者のみで開催された。
- (2)Y校
- ① 入学式 2021年4月8日 関係者のみで開催された。
 - ② 卒業式 2022年3月2日 関係者のみで開催された。

2. 表彰・支援

(1) 表彰

- ・ 市大 「進交会賞」 15名 (国際総合科学部12名、データサイエンス学部1名 医学部2名)
- ・ Y校 「進交会賞」 7名 (クラスの成績優秀者)
- 「美澤皆勤賞」 53名 (3年間無遅刻・無欠席の生徒に授与)

(2) 広告掲載

- ・ 市大： 運動部連合会、管弦楽団

(3) 母校への支援

- ・ 市大： 寄付金 71万円、
- ・ Y校： 寄付金 21万円

Ⅶ. 支部活動関係

- コロナ禍ため、支部活動も例年に比べて停滞したものの、各支部とも広報などに工夫して活動を続けた。
- 進交会報第87号(横浜市大版)の支部だよりにおいて、北海道支部、名古屋支部、近畿進交会、台湾支部、などの活動状況を紹介した。
- 会員の皆様に支部活動を知って頂けるよう、ホームページのトップページのヘッドに、新たに「支部活動」の項目を設置して、支部一覧と支部情報を掲載した。